

カリキュラム

『多文化共生社会に対応し、現代社会に求められる質の高い保育者』を育成するために、本学では特色のあるさまざまな学びがあります。

「単位制度」について

大学では、授業科目ごとに単位が定められ、卒業するために必要な単位を取得する制度をとっています。単位とは、学修量をはかる基準で、1単位は45時間の学修量を必要としています。幼児教育学科では、各年次と学期に配当された必修科目と選択科目の中から、卒業、幼稚園教諭一種免許状取得、保育士資格取得のそれぞれに必要な科目を履修していきます。

卒業 するのに必要な単位 126 単位以上	幼稚園教諭 一種免許状取得に 必要な単位 59 単位以上	保育士資格 取得に必要な単位 83 単位以上
------------------------------------	--	-------------------------------------

	1年		2年		3年		4年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
総合基礎領域	教養科目 宝仙の歴史 現代の倫理と宗教 現代女性論 こどもと親のストレスマネジメント 生と死を考える 健康スポーツ実技 英語(初級)★ 情報処理演習(基礎) ★詳しくは P18へ	宝仙の教育 人間形成論 日本国憲法 異文化理解 暮らしの中のコンピュータ 職業と社会 食育と現代社会 地球と環境 健康スポーツ理論 英語(中級)★ 情報処理演習(応用)	仏教概論(歴史) 現代の倫理と宗教 現代女性論 こどもと親のストレスマネジメント 生と死を考える 英語コミュニケーション(初級)★ マルチメディア演習 基礎韓国語(入門)	人間形成論 仏教概論(思想) 日本国憲法 異文化理解 暮らしの中のコンピュータ 職業と社会 食育と現代社会 地球と環境 英語コミュニケーション(中級)★ 基礎韓国語(初級)	現代の倫理と宗教 現代女性論 こどもと親のストレスマネジメント 生と死を考える 実践英語(初級)★ マルチメディア演習 プレゼンテーション演習 韓国語コミュニケーション(入門)	人間形成論 日本国憲法 異文化理解 暮らしの中のコンピュータ 職業と社会 食育と現代社会 地球と環境 実践英語(上級)★ 韓国語コミュニケーション(初級)	現代の倫理と宗教 現代女性論 こどもと親のストレスマネジメント 生と死を考える 実践英語(初級) プレゼンテーション演習 韓国語コミュニケーション(入門)	人間形成論 日本国憲法 異文化理解 暮らしの中のコンピュータ 職業と社会 食育と現代社会 地球と環境 実践英語(上級) 韓国語コミュニケーション(初級)
ゼミナール	基礎ゼミ 学問への誘い → 学問に触れる		保育実践演習 保育実践演習Ⅰ → 保育実践演習Ⅱ		専門研究ゼミⅠ 講読と発表 → 調査と発表		専門研究ゼミⅡ 卒業研究の基礎 → 卒業研究の完成	
「保育の現場を知る」 「保育実習」 「教育実習」	保育の現場を知るⅠ 体験学習Ⅰ(幼稚園)	保育の現場を知るⅡ 体験学習Ⅱ(施設)	保育の現場を知るⅢ 体験学習Ⅲ(保育所)	保育の現場を知るⅣ 体験学習Ⅳ(幼稚園)	保育実習Ⅰ(保育所) 保育実習Ⅰ(保育所) 事前事後指導 保育実習Ⅰ(施設)	保育実習Ⅱ(保育所) 保育実習Ⅱ(保育所) 事前事後指導 保育実習Ⅲ(施設)	教育実習 教育実習事前事後指導	
総合専門領域	音楽 音楽(基礎) 音楽演習(基礎)	音楽(応用) 音楽演習(応用)	器楽演習(基礎)	器楽演習(応用)	音楽表現指導法演習	リトミック		リトミック
表現系科目	造形		図画工作演習			造形表現指導法演習		
ドラマ	保育内容指導法演習 (クリエイティブ・ドラマ)			保育内容指導法演習(表現)				
身体				体育演習	ムーブメント			ムーブメント
★詳しくは P18へ	教育原理★ 発達心理学 国語 社会福祉 保育原理(意義と本質) 子どもの食と栄養(健康と食生活)	教育制度論★ 児童心理学 児童家庭福祉 保育原理(保育ニーズの多様化) 子どもの食と栄養(発達と食生活) 社会的養護	教職・保育職概論 教育心理学 相談援助 子どもの保健Ⅰ(発育・発達) 子どもの保健Ⅱ 乳児保育演習(意義と現状) 社会的養護内容 障害児保育演習(理念と援助)	教育課程・保育課程論 保育内容指導法演習(人間関係) 保育内容指導法演習(健康) 保育相談支援 子どもの保健Ⅰ(疾病・事故とその予防) 保育の心理学 家庭支援論 乳児保育演習(発達と課題) 障害児保育演習(現状と課題)	生活 保育内容指導法演習(環境) 運動障害教育法 保育方法論 指導計画と保育教材の研究 こども理解と教育相談 子育て支援論 子育て支援フィールドワーク(基礎) 地域社会とこども家庭福祉 絵本と児童文学	こども英語指導法★ 保育内容指導法演習(言葉) 子育て支援フィールドワーク(応用) 子育て支援カウンセリング 障害児の発達と運動遊び	運動障害教育法 子育て支援論 子育て支援フィールドワーク(基礎) 地域社会とこども家庭福祉 絵本と児童文学 保育内容総論演習	こども英語指導法★ 子育て支援フィールドワーク(応用) 子育て支援カウンセリング 障害児の発達と運動遊び 児童文化 保育・教職実践演習(幼) 在宅保育論
課外プログラム			利賀村研修 詳しくは P25へ		オーストラリア幼児教育・ 保育体験および英語研修 詳しくは P19へ			

カリキュラム・ポリシー

- 「総合基礎領域」は、建学の精神を理解し、大学生として必要とされる基礎的な技法、情報化社会に対応できる能力、さまざまな問題を考えるための教養、体験や経験に基づく知恵などを身につけるための科目のまとまりです。
- 「総合専門領域」は、質の高い保育者として必要な知識・技法を幅広く身につけるために設定した幼児教育基礎科目群、幼児教育応用科目群、幼児教育関連科目群、および幼児教育発展科目群から構成された科目のまとまりです。
- 幼児教育基礎科目群は、人としてこどもの教育・保育に関わるすべての大人が備えるべき素養を身につける科目のまとまりです。
- 幼児教育応用科目群は、幼稚園教諭という専門職養成に必要な知識と技法の修得に主眼をおいた科目のまとまりです。
- 幼児教育発展科目群は、幼児教育基礎科目群、幼児教育応用科目群および幼児教育関連科目群における学習内容を体験的に検証し、実践的能力を身につけるための科目のまとまりです。
- 幼児教育関連科目群は、保育士という専門職養成に必要な知識と技法の修得に主眼をおいた科目のまとまりです。

「カリキュラム・ポリシー」について

こども教育宝仙大学のカリキュラムは、建学の精神や教育理念をふまえ、質の高い幼児教育・保育・児童福祉に携わる専門職の養成を大きな柱とするとともに、高次元の倫理観と豊かな教養、幅広い専門知識をもった人間性の涵養および社会や時代の変化の中で生きるための総合的な判断力を培うために、ディプロマ・ポリシーに明記した人材養成を目的に編成しています。

こども教育学部幼児教育学科のカリキュラムは、教育上の目的を達成するために必要な「総合基礎領域」および「総合専門領域」から体系的に編成しています。



幼児教育学科長
石川 悦子